

公共情報コモンズ XML フォーマット定義書

Version 2.0



一般財団法人

マルチメディア振興センター

FMMC

Foundation for MultiMedia Communications

更新日	Version	版	主な追加・変更内容
2010/8/1	1.0	-	初版
2011/10/14	1.1	-	別紙参照
2011/11/8	1.1.1	-	別紙参照
2012/11/9	1.2	-	別紙参照
2013/4/1	1.2.1	-	別紙参照
2013/12/20	1.3	1	別紙参照
2014/1/24	1.3	2	別紙参照
2014/11/10	1.4	1	別紙参照
2015/6/1	1.4	2	別紙参照
2016/6/13	1.5	1	別紙参照
2017/10/11	1.5	2	別紙参照
2019/10/10	2.0	1	別紙参照

	名称と内容	備考	
	はじめに		
	表記ルール	このドキュメントにおける表記上のルール	
共通部	pcx	ルート要素、Control部	
	pcx_ib	ヘッダ要素	
	pcx_eb	共通要素の定義	
	pcx_add	追加の要素定義	
情報定義	pcx_ah	災害対策本部設置状況	
	pcx_ev	避難勧告・指示情報	
	pcx_sh	避難所情報	
	pcx_tsf	一時滞在施設情報	
	pcx_di	被害情報	
	pcx_gi	お知らせ	
	pcx_en	イベント情報	
	pcx_cp	国民保護情報	
	pcx_um	緊急速報メール	緊急速報メールの発信は限定対応となります。希望される方は事前にFMMCへご相談ください。
	pcx_wl	河川水位情報	
	pcx_rf	雨量情報	
	pcx_tl	潮位情報	
	pcx_fr	水位周知河川	
	pcx_pf	停電発生状況	
	pcx_system	発信・配信結果情報	緊急速報メール、SOAPの配信結果と、SOAPの発信結果に関する情報を運用しています。
コード定義	pcx_gstCode	河川水位観測所コード	Version 1.3 より、各コード値をXML仕様の管理対象から除外します。詳細は各コード用名前空間のページを確認ください。
	pcx_resCode	水系コード	
	pcx_rivCode	河川コード	

1. はじめに

本文書はLアラートで使用する標準データ形式「公共情報コモンズXML」の定義について記述するものです。

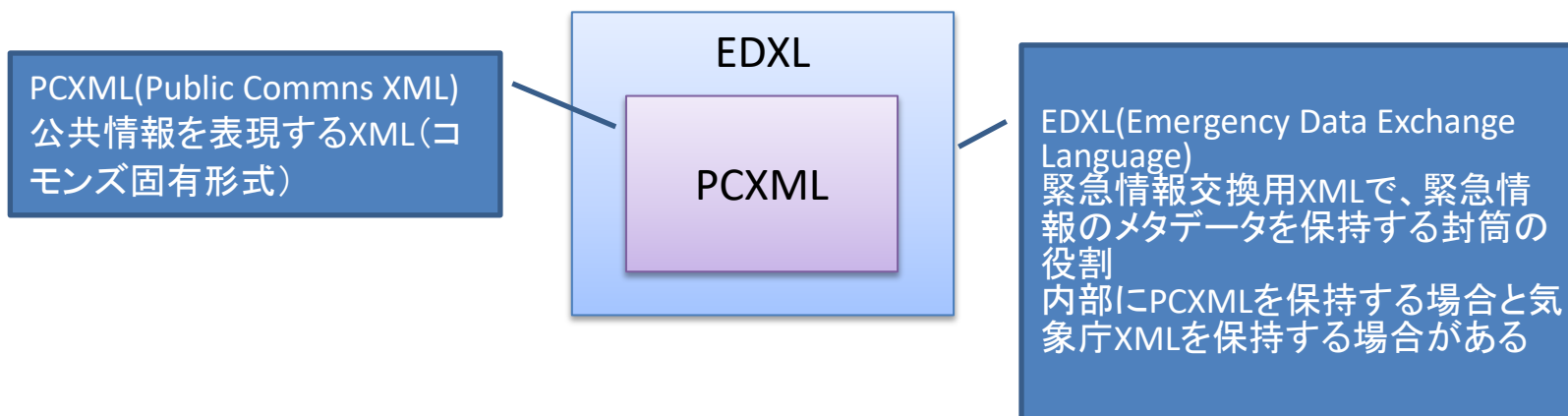
2. 著作権等

- 本文書は、総務省の許諾、協力を得て、総務省「平成21年度地域情報プラットフォーム委託事業」の推進事業成果報告書に基づき作成されています。なお、当該報告書の著作権は、総務省に帰属します。
- 一般財団法人マルチメディア振興センターは、本文書に関して、総務省から改訂、頒布等の許諾を得ています。
- 本文書を改変することは認められません。
- 本文書に関する問い合わせは一般財団法人マルチメディア振興センターにて受け付けます。
- 『Lアラート』は総務省及び一般財団法人マルチメディア振興センターの登録商標です。(登録第5802710号)
- 『公共情報コモンズ』は一般財団法人マルチメディア振興センターの登録商標です。(登録第5348969号)

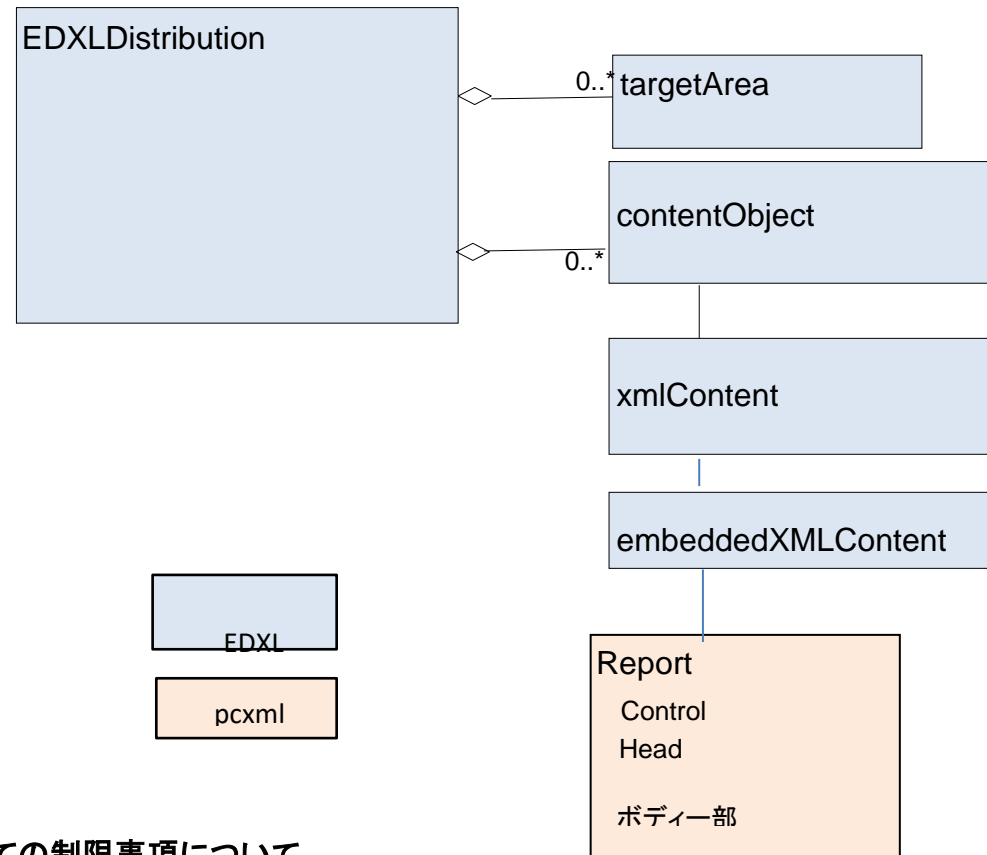
3. コモンズEDXLフォーマットとの関係について

コモンズ内部で流通するメッセージは、コモンズEDXLという形式の、封筒に相当する部分に含まれています。この封筒部分は情報本体部分のメタデータを保持する部分であり、情報の流通経路の決定などに使用されます。コモンズEDXLについては、別文書「公共情報コモンズEDXLフォーマット定義書」を参照してください。

本書は封筒に囲まれた情報の本体部分である、「公共情報コモンズ XML フォーマット」について記述したものです。公共情報コモンズ XML フォーマット は、pcxml 形式とも呼ばれています。



pcxml形式で記述された部分は、EDXL の embeddedXMLContent要素内に存在します(下図参照)。



4. XML作成にあたっての制限事項について

●“pcx_ens_i”に前方一致する名前空間プレフィックスは予約済みであり、XMLインスタンス内で宣言することはできません。この条件に一致する名前空間プレフィックスを使用したXMLをコモンズノードシステムに対して発信することはできませんのでご注意ください。

●改行コードはLFとします。

接頭辞
URI = 名前空間
関連する基底型 :

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	A1								
2			C11	type.C11		1			
3				*				"c11a"	
4				*				"c11b"	
5		B11		A3		?			
6		B12		xs:string		+			
7		*							
8	A2								
9			C12	xs:string		?			
10		B21		A1		*			
11		B11		xs:string		1			
12	A3								
13		B12		xs:string		1		code.D1	
14	(element)	B31		A2		1			
15	(end)								

接頭辞	名前空間(Namespace)を識別するための接頭辞を記述する。
名前空間	名前空間(Namespace)名を記述する。
関連する基底型	このドキュメント内に仕様が記述されていない型を基底型として参照している場合、関連する基底型として記述する。
項番	要素の位置を一意に表せるように番号を記述する。
親要素	親要素として、型の名前を記述する。このドキュメント内では一意な名前とする。列挙型の場合、複数の要素、属性から参照される場合のみ記述する。
子要素	親要素に含まれる項目の名前を記述する。同じ親要素内で一意な名前とする。例外的に任意の子要素も許容する場合は、子要素にアスタリスク("*")だけを記述した行を子要素の最後に置く(例:項番7)。この場合に許容する名前空間を、「とりうる値」欄に記述することができる。 また、規定型がこの要素、属性のみが使用する列挙型となる場合、とりうる値を続けて記述する。(項番2, 3, 4)
属性	親要素の属性の名前を記述する。同じ親要素内で唯一の名前とする。
基底型	子要素および属性の基底型を記述する。子要素の基底型としては、XML Schemaで定義されているビルトインデータ型、このドキュメント内で定義される親要素の名前、XML Schema単純型拡張(後述)、または関連する基底型で定義される親要素の名前を記述する(例:項番5, 6, 10)。属性の基底型としては、XML Schemaで定義されているビルトインデータ型の名前を記述する(例:項番2, 9)。親要素の基底型は通常、記述しないが、子要素および属性の基底型は必ず記述する。属性から引き続く行の親要素、子要素、属性が空欄で、基底型が"*"の場合、直前の属性の基底型を用いた列挙を表す(例:項番3, 4)。 XMLSchema単純型拡張を以下に示す。 - pcx_eb:nullablefloat・・・xs:float型を拡張しており、xs:floatの記述範囲のほかに空文字の記述を許容するもの - pcx_eb:nullableinteger・・・xs:integer型を拡張しており、xs:integerの記述範囲のほかに空文字の記述を許容するもの
サイズ	上限値を設けたい場合に記述する。空欄の場合、サイズの制限はない。
出現回数	親要素の出現回数は記述しない。具体的な出現回数は親要素を参照する子要素中に定義される。 子要素の出現回数は以下のように記述する。 必ず1回出現 1 0回か1回出現 ? 1回～無限大に出現 + 0回～無限大に出現 * N回～M回出現 N, M 属性の出現回数は以下のように記述する。 必ず1回出現 1 0回か1回出現 ?
意味	親要素、子要素、属性の意味を簡潔に記述する。
とりうる値	子要素、属性がとりうる値を簡潔に記述する。列挙値となる場合は、具体的な文字列をダブルクォートで挟んで記述する。正規表現を利用する場合は"RE:"を最初につけて記述し、任意の文字列を許容する場合は"*"を記述する。また、コード表による参照の場合、"code."で始まるコード管理表の親要素名を記述する(例:項番3, 4, 13)。
解説	親要素、子要素、属性を説明する文章を記述する。子要素がアスタリスク("*")だけの行は、例外的に任意の子要素も許容する理由を解説に記述し、他の欄は記述しない。

- 注1)親要素、子要素、属性は排他的に用いる。
 注2)属性は直前の親要素の属性を表し、子要素は直前の親要素の項目を表す。
 注3)属性の列挙を表す行は、基底型、意味、とりうる値、解説のみを記述する。
 注4)親要素として型を記述する場合には要素名として”type.”を最初につける。
 注5)別の名前空間に属する要素を作成する際は、要素名は呼び出される側の名前空間に属するようにする。そのために、次の2点の記述法を利用する。
 ・子要素欄に別の名前空間接頭辞が付いていた場合、基底型に記載の要素名に対して参照することとする。この場合の子要素と基底型は同じ接頭辞であるものとする。
 ・親要素名を”(element)”とした場合、子要素名を基底型に記載の型として、グローバルに宣言する(例:項番14)。
 注6)子要素のない属性値付き要素(単純型内容を持った複合型:simpleContent型)の表記として、親要素名として型を記載し、同一行にその基底型を表記する。
 注7)表の最終行であることを明示するために、親要素名として”(end)”を置く。
 注8)例に示した親要素、子要素、属性の名称やとりうる値には特に意味がない。

要素の背景色について

必須要素(例:項番5)	コモンズシステム上、必須の要素。メッセージ収集時点でチェックが行われ、存在していない場合、および形式が正しくない場合はエラーとなる(エラーチェックの起動の有無は、システムのオプションにより制御可能)。
必須要素(例:項番13) (親要素は省略可)	親要素は省略可能であるが、親要素を指定した場合は必須となる要素。
条件付必須要素	特定の要素の子要素として出現する場合や、別の要素が特定の値を保持する場合のみ必須となる要素。必須となる条件については各要素の「意味」「解説」列で記述する。
推奨要素 (例:項番10)	コモンズシステムとして設定が推奨される要素。メッセージ情報の有用性の観点から、できる限り設定されていることが望ましい(存在しなくてもエラーとはならない)。
非推奨要素	スキーマ上で定義されているが、使用を推奨されない要素。要素そのものを省略することが望ましい(存在していてもエラーとはならない)。

pcx
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	Report		type.report		1	ドキュメントルート		
2	type.report								
3		Control		type.control		1	伝送情報		
4		pcx_ib:Head		pcx_ib:type.head		1	ヘッダー部		
5		*		(namespace)		1	ボディ部		
6				*				"##other"	データタイプ別本体部分。データタイプ毎に namespace は異なる。
7	type.control								
8		Title		commons:categoryType		1	情報種別	"WaterLevel" "EvacuationOrder" など	種別を示すための情報名称を示す。(「公共情報コモンズ EDXL フォーマット定義書」参照)
9		commons:xmlVersion		xs:string		?	XMLバージョン		例)2.0 本要素は、Version 2.0 より、追加された。 このXMLの公共情報コモンズEDXL/XMLフォーマットのバージョン番号を表す。 本要素の値に名前空間バージョンを設定しなければならない。値には、名前空間バージョンを設定する。 名前空間バージョンの詳細については解説資料の「コモンズ EDXL/PCXML仕様のバージョン設定規則」を参照のこと
10		edxIde:distributionStatus		edxIde:statusValues		1	運用種別	"Actual" "Test" など	運用種別。元文書の運用種別を表す文字列ベースの列挙値。 EDXL内edxIde:distributionStatusと同じ値を設定する。(「公共情報コモンズ EDXLフォーマット定義書」参照)

pcx
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
11		EditorialOffice		pcx_eb:type.OfficeInfo		?	作成部署情報		<p>実際に情報を作成し、文責を持つ部署。発表した部署と文責を持つ部署が同じ場合、この要素は省略できる。</p> <p>部署名をOfficeNameに記述する。 EditorialOffice が地方公共団体の場合、OrganizationCode には地方公共団体コードを記述する。地方公共団体コードの記載はLocation/jisX0402 要素ではなく、OrganizationCode に記述することが推奨される。 地方整備局、雨量観測所、環境測定局など、地方公共団体でない場合は OrganizationCode を省略する。 部署の所在地をOfficeLocationに記述する。 部署の属する組織の名称をOrganizationNameに記述しなければならない。 部署のドメイン名を、OfficeDomainNameに記述する。部署がドメイン名を持たない場合には、組織のドメイン名を記述する。 例: <pre><EditorialOffice> <pcx_eb:OrganizationCode>281000</pcx_eb:OrganizationCode> <pcx_eb:ContactInfo type="phone">xxx-yyy-zzzz</pcx_eb:ContactInfo> <pcx_eb:OfficeName >防災センター</pcx_eb:OfficeName> <pcx_eb:OfficeDomainName >city.kakogawa.lg.jp</pcx_eb:OfficeDomainName> <pcx_eb:OfficeLocation> <commons:areaName >加古川市加古川町・・・</commons:areaName> </pcx_eb:OfficeLocation> <pcx_eb:OrganizationName >加古川市</pcx_eb:OrganizationName> </EditorialOffice></pre> </p>

pcx
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
12		PublishingOffice		pcx_eb:type.OfficeInfos		1	発表部署情報		<p>本情報を業務的に発表した部署の情報を示す。EditorialOffice 省略時は、PublishingOffice の部署が文責を持つ。</p> <p>部署名をOfficeInfo/OfficeNameに記述する。 PublishingOffice が地方公共団体の場合、OfficeInfo/OrganizationCode には地方公共団体コードを記述する。地方公共団体コードの記載は OfficeInfo/Location/jisX0402 要素ではなく、OfficeInfo/OrganizationCode にすることが推奨される。地方整備局、雨量観測所、環境測定局など、コードがない場合はOfficeInfo/OrganizationCode を省略する。 部署の所在地をOfficeInfo/OfficeLocationに記述する。 部署の属する組織の名称をOfficeInfo/OrganizationNameに記述しなければならない。 部署のドメイン名を、OfficeInfo/OfficeDomainNameに記述する。部署がドメイン名を持たない場合には、組織のドメイン名を記述する。</p> <p>例: <pre> <PublishingOffice> <pcx_eb:OfficeInfo> <pcx_eb:OrganizationCode>280003</pcx_eb:OrganizationCode> <pcx_eb:ContactInfo type="phone">aaa-yyy-zzzz</pcx_eb:ContactInfo> <pcx_eb:OfficeName>防災課</pcx_eb:OfficeName> <pcx_eb:OfficeDomainName >pref.hyogo.lg.jp</pcx_eb:OfficeDomainName> <pcx_eb:OfficeLocation> <commons:areaName >兵庫県神戸市中央区・・・</commons:areaName> </pcx_eb:OfficeLocation> <pcx_eb:OrganizationName>兵庫県</pcx_eb:OrganizationName> </pcx_eb:OfficeInfo> </PublishingOffice> </pre> </p>

pcx
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
13		Errata		pcx_eb:type.Errata		?	訂正・取消情報		<p>訂正・取消についての情報を表す。 この要素には、過去に発信された情報の訂正や取消を行なう際に、訂正内容や取消理由が設定される。</p> <p>edxIde:distributionTypeの値が“Update”の場合、本要素の記述内容は訂正内容・理由について説明するものとする。 edxIde:distributionTypeの値が“Cancel”の場合、本要素の記述内容は取消内容・理由について説明するものとする。 edxIde:distributionTypeの値が上記以外の場合、本要素を指定してはならない。</p> <p>本要素は、第1.1版より追加された。 第1.1版以降の形式の発信システムは、訂正情報・取消情報に本要素を必ず設定しなければならない。新規の情報や、訂正を含まない更新情報には、本要素を含めてはならない。 また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。 なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 訂正情報・取消情報の詳細については、解説資料「発信情報の訂正」「発信情報の取消」を参照のこと。</p>
14	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	Head		type.head		1	ヘッダ要素の定義		
2	type.head								
3		Title		xs:string		1	標題 情報発信者名、および情報種別名を含んでいることを推奨する。		情報のタイトルを示す。詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。 例: 加古川市: 避難勧告・指示情報 発令
4		CreateDateTime		xs:dateTime		1	作成日時		この文書が作成された日時を示す。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
5		FirstCreateDateTime		xs:dateTime		1	初版作成日時		この文書の初版が作成された日時を示す。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
6		ReportDateTime		xs:dateTime		1	発表日時		本情報の公式な発表時刻を示す。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
7		TargetDateTime		xs:dateTime		?	希望公開開始日時		発信者が、伝達者に対して情報の公開開始を希望する日時。 詳細については、解説資料「期間の概念」を参照のこと。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00 本要素は、第1.1版より、仕様書・スキーマの両方で任意要素となった。
8		TargetDTDubious		enum.type.head.TargetDTDubious		?	希望公開開始日時のあいまいさ		希望公開開始日時のあいまいさを示す。
9				*				"頃"	
10				*				"年頃"	
11				*				"月頃"	
12				*				"日頃"	
13				*				"時頃"	
14				*				"分頃"	
15				*				"秒頃"	
16				*				*	<任意の文字列>
17		TargetDuration		xs:duration		?	希望公開開始日時からのとりうる期間		発信者が、伝達者に対して情報の公開終了を希望する期間。 公開終了についての希望がある場合、ValidDateTime と TargetDuration は、どちらか一方のみを指定することが望ましい。両方を指定した場合は、ValidDateTime が優先される。 詳細については、解説資料「期間の概念」を参照のこと。
18		ValidDateTime		xs:dateTime		?	希望公開終了日時		発信者が、伝達者に対して情報の公開終了を希望する日時。 公開終了についての希望がある場合、ValidDateTime と TargetDuration は、どちらか一方のみを指定することが望ましい。両方を指定した場合は、ValidDateTime が優先される。 詳細については、解説資料「期間の概念」を参照のこと。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
19		edxl:distributionID		xs:string		1	メッセージID		本情報の識別情報を示し、本要素が同じものについては、同一の情報であることを示す。EDXL内edxl:distributionIDと同じ値を設定する。(「公共情報コモンズ EDXLフォーマット定義書」参照)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_ib URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/informationBasis 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxId: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
20		edxId:distributionType		edxId:typeValues		1	更新種別	"Report" "Update" など	EDXL内edxId:distributionTypeと同じ値を設定する。(「公共情報コモンズ EDXLフォーマット定義書」参照)
21		commons:documentRevision		xs:int		?	版番号		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1以降の版形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 EDXL内commons:documentRevisionと同じ値を設定する。 <TVCMLから受信した場合>RevisionIdの値を設定する。
22		commons:previousDocumentRevision		xs:int		?	更新前のメッセージの版番号		TVCMLから受信した場合、PreviousRevisionの値を設定する。
23		commons:documentID		xs:string	128	?	ドキュメントID。 文書を一意に識別する文字列。		EDXL内documentIDと同じ値を設定する。 コモンズノードシステムでは、共通の documentID を保持する情報を蓄積することで、文書の改版を表現する。 例えば、「避難勧告発令 → 避難指示発令 → 避難指示解除」の順で発令・解除が発表されるとき、コモンズノードシステムに対して3件の情報の送信が行われる。ここで、distributionIDは3件の情報すべてが異なる値を保持するのに対し、documentIDは3つの情報すべてで同じ値を保持する。これによって、3件の情報の元文書が同一であるということを認識する。 documentID は、コモンズのシステム内でユニークなIDとなる必要があるため、UUID (Universally Unique Identifier: RFC4122) の使用を推奨する。また、元文書が発信システム上一意となる ID を持つており、かつ上記改版の考え方に則している場合には、これに発信システムのFQDNを付けたものを用いてもよい。 詳細については、解説資料「ドキュメントIDの付番方法」を参照のこと。
24		ReportNumber		xs:int		?	報告番号		TVCML 被害情報、土砂災害警戒情報のタイトルの報告番号を設定する。
25		Headline		type.headline		?	見出し要素		見出し要素を示す。
26	type.headline								
27		Text		xs:string		?	見出し文		情報の内容を簡潔に表した文章を表す。詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。 (例) 加古川市に避難勧告が発令されました
28		Areas		type.areas		?	事象の起こった場所。個々の情報種別にあわせた地域・地区・場所の情報を記述する。		情報種別ごとに、記述内容が異なる。詳細については、解説資料「Head/Headline/Areasへの地域情報の設定」を参照のこと。
29		*		(namespace)		*	拡張用		
30				*				"http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml1/addition1/"	<<拡張用>>
31	type.areas								
32		Area		commons:CommonsTargetAreaType		+	地域・地点情報		個々の地域・地点の情報を示す。情報種別ごとに、記述内容が異なる。詳細については、解説資料「Head/Headline/Areasへの地域情報の設定」を参照のこと。
33	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_eb URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/elementBasis 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
1	type.DateTime			xs:dateTime					(一般)日付時刻 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
2			type	xs:string	50	? 分類			日付時刻の分類を示す。
3				*				"実況"	分類が"実況"であることを示す。
4				*				"推定 1時間後"	分類が"推定 1時間後"であることを示す。
5				*				"予報 3時間後"	分類が"予報 3時間後"であることを示す。
6				*				"予報 6時間後"	分類が"予報 6時間後"であることを示す。
7				*				"予報 9時間後"	分類が"予報 9時間後"であることを示す。
8				*				"予報 12時間後"	分類が"予報 12時間後"であることを示す。
9				*				"予報 15時間後"	分類が"予報 15時間後"であることを示す。
10				*				"予報 18時間後"	分類が"予報 18時間後"であることを示す。
11				*				"予報 21時間後"	分類が"予報 21時間後"であることを示す。
12				*				"予報 24時間後"	分類が"予報 24時間後"であることを示す。
13				*				"予報 45時間後"	分類が"予報 45時間後"であることを示す。
14				*				"予報 48時間後"	分類が"予報 48時間後"であることを示す。
15				*				"予報 69時間後"	分類が"予報 69時間後"であることを示す。
16				*				"予報 72時間後"	分類が"予報 72時間後"であることを示す。
17				*				"延長予報 96時間後"	分類が"延長予報 96時間後"であることを示す。
18				*				"延長予報 120時間後"	分類が"延長予報 120時間後"であることを示す。
19				*				*	<任意の文字列>
20			significant	enum.type.DateTime.significant.attr		? 有効桁			日付時刻の有効部分("年月日時"まで)を示す。
21				*				"yyyy"	有効部分が"年"までであることを示す。
22				*				"yyyy-mm"	有効部分が"月"までであることを示す。
23				*				"yyyy-mm-dd"	有効部分が"日"までであることを示す。
24				*				"yyyy-mm-ddThh"	有効部分が"時"までであることを示す。
25				*				"yyyy-mm-ddThh:mm"	有効部分が"分"までであることを示す。
26				*				"yyyy-mm-ddThh:mm:ss"	有効部分が"秒"までであることを示す。
27				*				"yyyy-mm-ddThh:mm:ss.sss"	有効部分が"ミリ秒"までであることを示す。
28			precision	xs:token	6	? 正確さ			日付時刻の幅("日頃"など)を示す。
29				*				RE"P%d+Y"	幅が"約〇年間"であることを示す。
30				*				RE"P%d+M"	幅が"約〇月間"であることを示す。
31				*				RE"P%d+D"	幅が"約〇日間"であることを示す。
32				*				RE"PT%d+H"	幅が"約〇時間"であることを示す。
33				*				RE"PT%d+M"	幅が"約〇分間"であることを示す。
34				*				RE"PT%d+S"	幅が"約〇秒間"であることを示す。
35				*				*	<任意の文字列>
36			dubious	xs:token	50	? あいまいさ			日付時刻のあいまいさ(時刻の幅で示せない場合)を示す。
37				*				"頃"	あいまいさを"頃"で示す。
38				*				*	<任意の文字列>
39	type.OfficeInfos								
40		OfficeInfo		type.OfficeInfo		+ 組織(団体)・部署情報			情報の発信元や編集組織を表す。
41	type.OfficeInfo								
42		Location		commons:CommonsTargetAreaType		? 組織名を記述するための複合型要素			非推奨。この要素は、OfficeName要素によって置き換えられた。部署名の記述にはOfficeName要素を使用する。
43		OrganizationCode		xs:string		? 組織コード			組織のコードを表す。 自治体は必須とするが、他の組織の場合は、省略する。 全国地方公共団体コード(JISX0401/0402)をチェックディジット付きの6桁で指定する。 例: 280003

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_eb URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/elementBasis 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxlde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
44		ContactInfo		type.ContactInfo		*	組織の連絡先情報		組織・部署の連絡先を示す。
45		OfficeName		xs:string		1	部署の名称 部署の名称を表す。		都道府県名、市町村名等の組織の名称を付加してはならない。 例: 防災課
46		OfficeNameKana		xs:string		?	部署の名称(かな表記)		例: ぼうさいか
47		OfficeLocation		commons:CommonsTargetAreaType		?	部署の所在地情報		
48		OfficeDomainName		xs:string		?	部署のドメイン名		自治体の場合は省略する。
49		OrganizationName		xs:string		?	組織の名称。 団体・企業など、人格を持つ組織の名称を表す。		本要素は、第1.1版より追加された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 Report/Control/EditorialOfficeおよび Report/Control/PublishingOffice/OfficeInfoの子要素としての OrganizationName は、必須要素である。その他の位置に出現する場合はこの限りではない。 例: 兵庫県 例: △△市××区 例: ○○電力株式会社
50		OrganizationDomainName		xs:string		?	組織のドメイン名。 団体・企業など、人格を持つ組織のドメイン名を表す。		本要素は、第1.2.1版より追加された。自治体以外の発信情報に関しては必須とする。自治体の場合には省略する。なお、XMLスキーマ上は省略可能としている。
51	type.ContactInfo			xs:string					
52			contactType	enum.type.OfficeInfo.ContactInfo.attr		1	連絡先		連絡先
53				*				"phone"	電話番号
54				*				"fax"	FAX番号
55				*				"e-mail"	メールアドレス
56				*				"personResponsible"	担当者名
57	type.WaterLevel			pcx_eb.nullablefloat					河川水位
58			type	enum.type.WaterLevel.type.attr	50	?	分類		分類を示す。
59				*				"なし"	
60				*				"水防団待機水位"	
61				*				"はん濫注意水位"	
62				*				"出動水位"	
63				*				"避難判断水位"	
64				*				"はん濫危険水位"	
65				*				"水位標零点高"	
66			unit	enum.type.WaterLevel.unit.attr	20	?	単位		単位を示す。 本属性は、第1.1版より、必須属性に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本属性を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本属性が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
67				*				"m"	単位が"m"であることを示す。
68			condition	xs:string	50	?	状態		値の状態("不明")などを示す。
69			description	xs:string	100	?	文字列表現		値を文字列で表示する場合の表記法を記述する。
70	type.Disaster								
71		DisasterCode		xs:NMTOKEN		?	災害コード		

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_eb URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/elementBasis 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxId: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
72		DisasterName		xs:token		?	災害名。正式な名称が決まるまでは、仮称でよい。		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。 また、各自治体間で統一された名称でなくてよい。
73	enum.type.Information.DataStatus			xs:string					
74				*				"正常"	
75				*				"範囲異常"	
76				*				"変化量オーバ"	
77				*				"一定値"	
78				*				"保守中"	
79				*				"修正値(手入力)"	
80				*				"欠測を含んだ計算値"	
81				*				"再計算"	
82				*				"計画(旧)"	
83				*				"計画(新)"	
84				*				"閉局(休止中)"	
85				*				"未収集"	
86				*				"欠測"	
87				*				"訓練"	
88	type.Errata								
89		Description		xs:string		1	訂正・取消に関する文章		過去に発信された情報を訂正または取り消す場合に、訂正・取消内容を記述するための自由文の文章。詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。
90		DateTime		xs:dateTime		1	訂正・取消を業務的に行った日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
91	type.MultilingualTextElement			xs:string					多言語対応の名称
92		lang		xs:string		?			rfc5646 Tags for Identifying Languages に定められた表記で指定すること。 省略した場合、ja とみなされる。
93	(end)								

pcx_add
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/addition
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	type.Files								
2		File		type.File		+	添付ファイル情報		子要素URIに、インターネット経由で参照可能なファイルのURIを指定することで、ファイル添付を表現する。
3	type.File								
4		Caption		xs:string		?	ファイルの文字情報		本要素は、第1.2版より追加された。 このファイルのタイトル、説明文を表す。
5		DateTime		pcx_eb:type.DateTime		?	撮影日時		
6		URI		xs:anyURI		?	ファイルのURI		
7		MediaType		type.MediaType		?	メディアタイプ		
8				*				"Text"	
9				*				"Graphic"	
10				*				"Photo"	
11				*				"Audio"	
12				*				"Video"	
13				*				"Pdf"	第1.2版より追加された。
14		FormatType		xs:string		?	フォーマットタイプ		ARIB、ORIGINAL etc
15		MimeType		type.MimeType		?	MIMEタイプ		MIMEタイプとして認識できる文字列。
16				*				"text/xml"	
17				*				"image/jpeg"	
18				*				"application/pdf"	第1.2版より追加された。
19				*				"audio/mpeg"	第1.2.1版より追加された。
20		Information		type.Information		?	画像情報		
21	type.Information	FileSize		type.FileSize		?	ファイルサイズ		
22		Width		type.FileSize		?	横サイズ		
23		Height		type.FileSize		?	縦サイズ		
24	type.FileSize			xs:nonNegativeInteger					
25		unit		enum.type.FileSize.unit.attr		?			
26				*				"byte"	
27				*				"pixel"	
28	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	h2		xs:string			第2見出し		
2	(element)	br		type.br			改行		
3	(element)	a		type.a			アンカー		
4	(element)	ul		type.ul			順序なしリスト		
5	(element)	ol		type.ol			順序ありリスト		
6	(element)	dl		type.dl			定義済みリスト		
7	(element)	u		xs:string			下線付きテキスト		
8	type.br								本要素は、Version 1.5より追加された。 type.br要素は、属性無し・子要素無し・テキスト値無しでなければならない。
9	type.a								テキスト値にリンクの文字列表記を指定する。
10			href	type.URI		1	リンク先のURL情報		
11	type.URI			xs:anyURI			URI		
12	type.ul								
13		li		type.Flow		+	リスト項目		
14	type.ol								
15		li		type.Flow		+	リスト項目		
16	type.dl								子要素、dt、dd一つ以上設定しなければならない。子要素dt、ddの出現順は問わない。
17		type.dt		type.Flow		+	用語		親要素が出現する場合、dtまたはddのどちらか一方が1つ以上指定されなければならない。
18		type.dd		type.Flow		+	定義		親要素が出現する場合、dtまたはddのどちらか一方が1つ以上指定されなければならない。
19	type.Flow								テキスト値のほかに、0個以上の子要素aや0個以上のu要素を記述することができる。
20		a		type.a		*	アンカー		
21		u		xs:string		*	下線付きテキスト		本要素は、Version 1.5より追加された。
22	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	AntidisasterHeadquarter		type.AntidisasterHeadquarter		1	災害対策本部設置状況のルート要素		
2	type.AntidisasterHeadquarter								
3		pcx_eb:Disaster		pcx_eb:type.Disaster		?	災害識別情報		<p>本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。</p> <p>災害名をDisaster/DisasterNameに設定する。 災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。 また、各自治体間で統一された名称でなくてよい。</p>
4		Type		enum.type.Type		?	本部種別		<p>本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。</p>
5				*				"警戒本部"	
6				*				"対策本部"	
7		Status		enum.type.Status		?	設置状況		<p>本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。</p>
8				*				"解散"	
9				*				"設置"	
10		DateTime		xs:dateTime		?	設置・解散日時		<p>本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00</p>
11		Name		xs:string		?	本部名称		本要素は、Version 1.3 より追加された。
12		ComplementaryInfo		xs:string		?	補足情報		本要素は、Version 1.3 より追加された。
13	(end)								

pcx_ev
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/evacuation
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	EvacuationOrder		type.EvacuationOrder		1	避難勧告・指示情報のルート要素		
2	type.EvacuationOrder								
3		pcx_eb:Disaster		pcx_eb:type.Disaster		?	災害識別情報		<p>本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。</p> <p>災害名をDisaster/DisasterNameに設定する。災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。また、各自治体間で統一された名称でなくてよい。</p>
4		ComplementaryInfo		xs:string		?	補足情報		<p>避難勧告等の発令に関して、他の要素では表現できない住民やメディアに伝えたい特記事項等を記載する。詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。</p>
5		Reason		xs:string		?	発令・解除理由		<p>本要素は、Version 1.5より、必須要素として追加された。Version 1.5以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、Version 1.4以前の形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。</p> <p>避難勧告等を発令または解除した際の理由を表し、住民にとっての避難理由でもある。詳細については、解説資料「避難勧告・指示情報作成時の留意事項」を参照のこと。</p>
6		Guideline		xs:string		?	避難行動指針		<p>本要素は、Version 1.5より追加された。</p> <p>住民がとる避難行動への指針となる情報を記述する。詳細については、解説資料「避難勧告・指示情報作成時の留意事項」を参照のこと。</p>
7		TotalNumber		type.Object		?	対象世帯・人数の総数		<p>この避難勧告・指示情報が含む、発令中の地区内の対象世帯・人数の総計。全地区が解除された際には要素ごと省略するか、子要素に"0"を設定する。</p>
8		Detail		type.Detail		+	詳細情報		<p>避難勧告・指示の詳細情報。</p>

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_ev URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/evacuation 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
9		AttachmentFiles		pcx_add:type.Files		?	添付ファイル		本要素は、Version2.0より追加された。 発令地区の地理情報を添付する。本要素以下のURIは、同一EDXLに内包された別のcontentObjectを指す。詳細については解説資料「避難勧告・指示情報」作成時の留意事項を参照のこと。 記述例を以下に示す。 <pcx_ev:AttachmentFiles> <pcx_add:File> <pcx_add:Caption>地理情報</pcx_add:Caption> <pcx_add:URI>areas_1235.topojson.gz</pcx_add:URI> </pcx_add:File> </pcx_ev:AttachmentFiles>
10	type.Object								
11		Households		type.Households		?	世帯数		
12		HeadCount		xs:nonNegativeInteger		?	人数		
13	type.Detail								
14		AlertLevel		enum.type.AlertLevel		?	警戒レベル		本要素は、Version2.0より追加された。 本要素の運用については、2019年3月発行「避難勧告等に関するガイドライン」に従うこととする。
15				*				"警戒レベル3"	
16				*				"警戒レベル4"	
17				*				"警戒レベル5"	
18		Sort		enum.type.Sort		1	発令区分		
19				*				"避難準備"	
20				*				"避難勧告"	
21				*				"避難指示"	
22				*				"災害発生情報"	本取り得る値は、Version2.0より追加された。 本取り得る値の運用については、2019年3月発行「避難勧告等に関するガイドライン」に従うこととする。
23				*				"警戒区域"	
24		IssueOrLift		enum.type.IssueOrLift		1	発令・解除区分		
25				*				"解除"	
26				*				"発令"	
27		Object		type.Object		?	対象世帯・人数		避難勧告・指示の対象となる世帯・人数(Detail でまとめられた発令区分単位での数)。
28		Areas		type.Areas		1	発令・解除対象地区の集合		対象地区には、発令区分が変化した地区だけでなく、前回発表時から同じ発令区分が継続している地区も含めなければならない。 また、発令・解除対象地区の名称には、県や市町村名を付加することはできない。 詳細については、解説資料「避難勧告・指示情報作成時の留意事項」を参照のこと。
29	type.Areas								
30		Area		type.Area		+	発令・解除地区情報		
31	type.Area								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_ev URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/evacuation 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
32		pcx_eb:Location		commons:CommonsTargetAreaType		1	発令・解除地区の名称・位置情報		発令・解除地区名を子要素areaNameに記述する(必須)。 発令・解除地区名の読み仮名をareaNameKanaに記述する(推奨)。
33		DateTime		pcx_eb:type.DateTime		?	発令・移行・解除日時		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
34		Object		type.Object		?	対象世帯・人数		避難勧告・指示の対象となる世帯・人数(Area単位での数)。発令・解除区分が解除の場合、省略することができる。
35		ComplementaryInfo		xs:string		?	発令地区別 補足情報		本要素は、Version2.0より追加された。 主にメディア向けの情報で、地すべり等の稀なケースで発令地区名に特記事項等を付加するケースなどで使用する。 例:〇〇地区の一部(当初避難勧告を発令した3世帯および追加発令した6世帯のうち2世帯を警戒区域に設定)
36		Reason		xs:string		?	発令地区別 発令・解除理由		本要素は、Version2.0より追加された。 住民向けの情報。発令や解除の理由を分かり易く自由文で伝える。
37		Guideline		xs:string		?	発令地区別 避難行動指針		本要素は、H29年度Lアラート地図表示化検証用拡張で追加された。 住民向けの情報。垂直避難や、避難場所等、住民が避難する際の指針を記述する。
38		TypeOfDisaster		enum.type.TypeOfDisaster		*	災害種別		本要素は、Version2.0より追加された。 この地区での災害の種別を表す
39				*				"洪水"	
40				*				"崖崩れ、土石流及び地滑り"	
41				*				"高潮"	
42				*				"地震"	
43				*				"津波"	
44				*				"大規模な火事"	
45				*				"内水氾濫"	一時的に大量の降雨が生じた場合において下水道その他の排水施設又は河川その他の公共の水域に当該雨水を排水できないことに
46				*				"火山現象"	火砕流、溶岩流、噴石その他噴火に伴い発生する火山現象

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_ev URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/evacuation 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
47		GeometryRef		xs:string		?	地理データ参照		<p>本要素は、Version2.0より追加された。</p> <p>このPCXMLに添付された地理情報内の、当該発令・解除地区情報の地理データへの参照を表す。 発信情報に地理情報を添付しない場合、本要素を省略する。</p> <p>値には "\$添付ファイル名#地理データID" を設定する。\$添付ファイル名には AttachmentFiles/Files/File/URIと同じ値を指定する。添付ファイルが一つの場合には省略することができる。 \$地理データIDには、添付ファイルTopoJSON内の地理情報フォーマットの geometry_id プロパティの値を設定する。</p> <p>例: (添付ファイル名が"2281ff24-c1f7-403c-8b43-261a2f7cd7b3.json.gz"、地理データIDが"10001"の場合) <GeometryRef>2281ff24-c1f7-403c-8b43-261a2f7cd7b3.json.gz#10001</GeometryRef> または <GeometryRef>#10001</GeometryRef></p> <p>(注意事項)添付ファイル名および地理データIDについて、異なるXMLで同じ名前が設定される場合がある点に注意する。また、改版時において、同じ地区に対する地理データIDが改版前後で同値であるかは保証されない点に注意する。</p>
48	type.Households			xs:nonNegativeInteger					
49			unit	enum.type.Households.unit.attr		?	対象世帯の単位		
50				*				"戸"	非推奨。
51				*				"世帯"	
52	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	Shelter		type.Shelter		1	避難所情報のルート要素		平常時でも情報発信可能。詳細については解説資料「避難所情報」作成時の留意事項を参照のこと。
2	type.Shelter								
3		pcx_eb:Disaster		pcx_eb:type.Disaster		?	災害識別情報		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 災害名をDisaster/DisasterNameに設定する。災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。 また、各自治体間で統一された名称でなくてよい。
4		ComplementaryInfo		xs:string		?	補足情報		住民への伝達事項などを記載する。詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。
5		TotalNumber		type.NumberOf		?	避難している世帯数・人数などの総計		開設済み避難所に関する情報の総計とする。閉鎖・未開設の避難所に関する情報は含まない。全避難所が閉鎖した際には要素ごと省略するか、子要素に“0”を設定する。
6		TotalNumberOfShelter		xs:nonNegativeInteger		?	開設避難所の総数		開設済み避難所の総数とする。閉鎖・未開設の避難所は含まない。全避難所が閉鎖した際には要素ごと省略する。 本要素は、第1.1版より追加された。また、本要素の追加に伴い、第1.0版の要素“TotalNumberOfShlter”は削除された。
7		Informations		type.Informations		1	避難所情報		複数の避難所情報の子要素として含む
8	type.NumberOf								
9		HeadCount		xs:nonNegativeInteger		?	人数。自主避難人数を含む。		
10		HeadCountVoluntary		xs:nonNegativeInteger		?	自主避難人数		
11		Households		type.Households		?	世帯数。自主避難世帯数を含む		
12		HouseholdsVoluntary		type.Households		?	自主避難世帯数		
13	type.Households			xs:nonNegativeInteger					
14			unit	enum.type.Households.unit.attr		?	対象世帯の単位		
15				*				“戸”	非推奨。
16				*				“世帯”	
17	type.Informations								
18		Information		type.Information		+	避難所情報		避難所情報には、避難所区分が変化した避難所だけでなく、前回発表時から同じ区分が継続している避難所も含めることが推奨される。未開設の避難所については通常は設定せず、開設・閉鎖の避難所のみを設定することが推奨される。詳細は解説資料「避難所情報」作成時の留意事項を参照のこと。
19	type.Information								
20		Location		type.Location		1	避難所の所在地		
21		Type		enum.type.Type		1	避難所種別		
22				*				“避難所”	
23				*				“臨時避難所”	
24				*				“広域避難場所:開設措置なし”	
25				*				“一時避難場所:開設措置なし”	
26		SuitableShelter		enum.type.SuitableShelter		?	指定区分		本要素はXML Version1.4より追加された。

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
27				*				"指定避難所"	
28				*				"指定緊急避難場所兼避難所"	
29				*				"指定緊急避難場所"	
30								"指定なし"	
31		TypeOfDisaster		enum.type.TypeOfDisaster		*	災害種別		本要素はXML Version1.4より追加された。 指定区分に"指定緊急避難場所兼避難所"、または"指定緊急避難場所"を指定した場合、災害種別は必ず指定しなければならない。その他のTypeを指定した場合、災害種別の指定は任意である。 複数の種別に対応する避難場所に対しては、TypeOfDisasterを複数指定する。
32				*				"洪水"	
33				*				"崖崩れ、土石流及び地滑り"	
34				*				"高潮"	
35				*				"地震"	
36				*				"津波"	
37				*				"大規模な火事"	
38				*				"内水氾濫"	一時的に大量の降雨が生じた場合において下水道その他の排水施設又は河川その他の公共の水域に当該雨水を排水できないことによる浸水
39				*				"火山現象"	火砕流、溶岩流、噴石その他噴火に伴い発生する火山現象
40		Sort		enum.type.Sort		1	避難所区分		補足 *1 参照
41				*				"未開設"	
42				*				"開設"	
43				*				"閉鎖"	
44				*				"不明"	
45				*				"常設"	
46		TypeDetail		xs:string		?	避難所種別で表現しきれない情報		例: 福祉避難所
47		DateTime		xs:dateTime		?	開設・閉鎖日時		避難所開設時または避難所閉鎖時のみ設定される情報。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
48		Capacity		xs:positiveInteger		?	最大の収容人数		
49		Status		enum.type.Status		?	避難所状況		避難所区分が閉鎖の場合には要素ごと省略する。
50				*				"空き"	
51				*				"混雑"	
52				*				"定員一杯"	
53				*				"不明"	
54		NumberOf		type.NumberOf		?	避難している世帯数・人数		
55		CheckedDateTime		xs:dateTime		?	避難所状況確認日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
56		Topical		xs:string		?	特記事項		避難所ごとの特記事項を記述する。 本要素は、Version 1.5 より追加された。

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_sh URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/shelter 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
57	type.Location			commons:CommonsTargetAreaType					commons:CommonsTargetAreaTypeを拡張する。子要素に設定する内容は以下のとおり。 - circle, polygonに避難所の地理情報を記述する。 - areaName, areaNameKanaに、避難所の名称、名称のかな表記を記述する。 - ContactInfoに、避難所の連絡先情報を記述する。属性contactTypeに連絡先の種別(メール、電話等)を記述する。 - Addressに避難所の所在地の住所を記述する。 (例) <pcx_sh:Location> <edxIde:circle>34.768797,134.836031,0</edxIde:circle> <commons:areaName>〇〇市福祉会館</commons:areaName> <commons:areaNameKana>まるまるしふくしかいかん</commons:areaNameKana> <pcx_eb:ContactInfo pcx_eb:contactType="phone">xxx-yyy-zzzz</pcx_eb:ContactInfo> <pcx_eb:ContactInfo pcx_eb:contactType="fax">xxx-yyy-zzzz</pcx_eb:ContactInfo> <pcx_sh:Address>〇〇市△△町2-3</pcx_sh:Address> </pcx_sh:Location>
58		pcx_eb:ContactInfo		pcx_eb:type.ContactInfo		*	避難所の連絡先		
59		Address		xs:string		?	避難所の住所		
60	(end)								

補足

*1 避難所区分の状態遷移

避難所情報

	平常時	災害時
避難所	未開設	未開設 → 開設 → 閉鎖 → 未開設
臨時避難所		開設 → 閉鎖 → (なし)
一時避難場所	常設	常設
広域避難場所		

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	TemporaryStayFacilities		type.TemporaryStayFacilities		1	一時滞在施設情報のルート要素		
2	type.TemporaryStayFacilities								
3		pcx_eb:Disaster		pcx_eb:type.Disaster		1	災害識別情報		災害名をDisaster/DisasterNameに設定する。 災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。 また、各自治体間で統一された名称でなくてよい。
4		ComplementaryInfo		xs:string		?	補足情報		発信文書に関する全般的な補足情報を記述する。
5		TotalNumberOfFacilities		xs:nonNegativeInteger		1	開設施設の総数		発表時点で開設されている施設の総数。全施設が閉鎖した際には"0"を設定する。
6		TotalNumber		xs:nonNegativeInteger		?	収容者数の総数		発表時点で実際に収容されている人の総数。単位は人。全施設が閉鎖した際には要素ごと省略する。
7		Informations		type.Informations		1	施設情報		複数の施設情報を子要素として含む。
8	type.Informations								
9		Information		type.Information		+	施設情報		施設情報には、開設状況(開設・閉鎖)が変化した施設だけでなく、前回発表時と同じ状況が継続している施設も含める。 未開設の一時滞在施設については含めない。
10	type.Information								
11		Name		pcx_eb:type.type.MultilingualTextElement		+	施設名		
12		NameKana		xs:string		1	施設名(かな表記)		
13		AdministrationSort		enum.type.AdministrationSort		?	管理区分		
14				*				国・公共施設	
15				*				民間施設	
16		Location		type.Location		1	一時滞在施設の所在地		
17		SeatingCapacity		xs:nonNegativeInteger		?	収容可能人数		
18		SupplyFacilities		type.SupplyFacilities		?	提供設備		
19		Stock		type.Stock		?	備蓄品		
20		Situation		type.Situation		1	施設の状態		
21	type.Location								
22		edxIde:circle		xs:string		1	緯度・経度		世界測地系。10進法で設定する。
23		Address		pcx_eb:type.type.MultilingualTextElement		+	住所		
24		AddressKana		xs:string		1	住所(かな表記)		
25		pcx_eb>ContactInfo		pcx_eb:type.ContactInfo		*	一時滞在施設の連絡先		担当者名、電話番号 提供設備(災害時に利用可能であることが確認できているもの)
26	type.SupplyFacilities								
27		PublicTelephone		enum.type.Available		?	特設公衆電話		
28				*				"使用可"	
29				*				"使用不可"	
30		Wi-Fi		enum.type.Available		?	Wi-Fi		
31				*				"使用可"	
32				*				"使用不可"	
33		AED		enum.type.Available		?	AED		
34				*				"使用可"	
35				*				"使用不可"	
36	type.Stock								備蓄品
37		Water		enum.type.Supply		?	飲料水		
38				*				"有"	
39				*				"無"	
40		SimpleToilet		enum.type.Supply		?	簡易トイレ		
41				*				"有"	
42				*				"無"	
43		EmergencyBlanket		enum.type.Supply		?	ブランケット		
44				*				"有"	
45				*				"無"	
46		EmergencyFood		enum.type.Supply		?	食料		
47				*				"有"	
48				*				"無"	
49		Tarpaulin		enum.type.Supply		?	ブルーシート		
50				*				"有"	

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
51						*		"無"	
52	type.Situation								施設の状況
53		Circumstance		enum.type.Circumstance		1	開設状況		
54						*		"開設"	
55						*		"閉鎖"	
56		DateTime		xs:dateTime		1	開設・閉鎖日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
57		ConfirmationDateAndTime		xs:dateTime		1	状況確認日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
58		BeingAccommodated		xs:nonNegativeInteger		?	収容者人数		発表時点で実際に収容されている人数。単位は人。
59		CongestionSituation		enum.type.CongestionSituation		1	受入状況		開設状況が閉鎖の場合には"受入終了"を設定する。
60						*		"受入可"	
61						*		"混雑"	
62						*		"受入終了"	定員オーバー等で新たに受け入れできない状態
63						*		"不明"	
64		Topical		xs:string		?	特記事項		施設ごとの特記事項を記述する
65	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	DamageInformation		type.DamageInformation		1	被害情報のルート要素		本要素には、1つ以上の被害に関する項目の値(数値)を記述するか、ComplementaryInfoを記述しなければならない。 “1つ以上の被害に関する項目の値(数値)を記述する”とは、具体的には、HumanDamages、HouseDamages、BuildingDamages、OtherDamages、Sufferers、FireDamages、Losses、Firefighterの各要素のいずれか一つ以上を記述しなければならない。また子要素に、被害に関する値(数値)を記述しなければならない。 被害に関する全ての項目の値を設定できない場合には、ComplementaryInfo要素で災害や被害に関する補足情報を記述しなければならない。
2	type.DamageInformation								
3		pcx_eb:Disaster		pcx_eb:type.Disaster		?	災害識別情報		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。 災害名をDisaster/DisasterNameに設定する。 災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。 また、各自自治体間で統一された名称でなくてよい。
4		ComplementaryInfo		xs:string		?	補足情報		詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。 Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
5		HumanDamages		type.HumanDamages		?	人的被害		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
6		HouseDamages		type.HouseDamages		?	住家被害		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
7		BuildingDamages		type.BuildingDamages		?	非住家被害		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
8		OtherDamages		type.OtherDamages		?	その他		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
9		Sufferers		type.Sufferers		?	り災		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
10		FireDamages		type.FireDamages		?	火災		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
11		Losses		type.Losses		?	被害額		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
12		Firefighter		type.Firefighter		?	消防		被害に関する項目。Type.DamageInformationには、1つ以上の被害に関する項目か補足情報を記述しなければならない。
13	type.HumanDamages								
14		HumanDamage		type.HumanDamageCounter		+	人的被害		
15	type.HumanDamageCounter			type.DamageCounter					
16			humanDamageType	enum.type.HumanDamageCounter.humanDamageType.attr		?	人的被害の種類		
17				*				“死者”	
18				*				“行方不明者数”	
19				*				“負傷者_重傷”	
20				*				“負傷者_軽傷”	

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
21	type.HouseDamages								
22		HouseDamage		type.HouseDamageCounter		*	住家被害		本要素は、第1.2版より、必須要素(親要素省略可)に指定された。第1.2版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.1.1版以前の形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
23	type.HouseDamageCounter			type.DamageCounter					
24			houseDamageType	enum.type.HouseDamageCounter.houseDamageType.attr		?	住家被害の種類		
25				*				"全壊"	
26				*				"半壊"	
27				*				"一部破損"	
28				*				"床上浸水"	
29				*				"床下浸水"	
30	type.BuildingDamages								
31		BuildingDamage		type.BuildingDamageCounter		*	非住家被害		本要素は、第1.2版より、必須要素(親要素省略可)に指定された。第1.2版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.1.1版以前の形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
32	type.BuildingDamageCounter			type.DamageCounter					
33			buildingDamageType	enum.type.BuildingDamageCounter.buildingDamageType.attr		?	非住家被害の種類		
34				*				"公共建物"	
35				*				"その他"	
36	type.OtherDamages								
37		OtherDamage		type.OtherDamageCounter		*	その他被害		本要素は、第1.2版より、必須要素(親要素省略可)に指定された。第1.2版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.1.1版以前の形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
38	type.OtherDamageCounter			type.DamageCounter					
39			otherDamageType	enum.type.OtherDamageCounter.otherDamageType.attr		?	その他被害の種類		
40				*				"田_流出埋没"	
41				*				"田_冠水"	
42				*				"畑_流出埋没"	
43				*				"畑_冠水"	
44				*				"文教施設"	
45				*				"病院"	
46				*				"道路"	otherDamageType属性値が"道路"であるOtherDamage要素の記述を推奨する。
47				*				"橋りょう"	
48				*				"河川"	otherDamageType属性値が"河川"であるOtherDamage要素の記述を推奨する。
49				*				"港湾"	
50				*				"砂防"	
51				*				"清掃施設"	
52				*				"崖くずれ"	otherDamageType属性値が"崖くずれ"であるOtherDamage要素の記述を推奨する。
53				*				"鉄道不通"	otherDamageType属性値が"鉄道不通"であるOtherDamage要素の記述を推奨する。

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_di URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/DamageInformation 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
54				*				"被害船舶"	
55				*				"水道"	
56				*				"電話"	
57				*				"電気"	
58				*				"ガス"	
59				*				"ブロック塀等"	
60	type.Sufferers								
61		Sufferer		type.SuffererDamageCounter		*			本要素は、第1.2版より、必須要素(親要素省略可)に指定された。第1.2版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.1.1版以前の形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
62	type.SuffererDamageCounter			type.DamageCounter					
63			suffererDamageType	enum.type.SuffererDamageCounter.suffererDamageType.attr		?			
64				*				"り災世帯数"	
65				*				"り災者数"	
66									
67	type.FireDamages								
68		FireDamage		type.FireDamageCounter		*			本要素は、第1.2版より、必須要素(親要素省略可)に指定された。第1.2版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.1.1版以前の形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
69	type.FireDamageCounter			type.DamageCounter					
70			fireDamageType	enum.type.FireDamageCounter.fireDamageType.attr		?			
71				*				"建物"	
72				*				"危険物"	
73				*				"その他"	
74	type.Losses								本要素が出現する場合、FacilitiesLosses、OtherLosses、TotalLossesのうち、いずれか1つ以上を記述しなければならない。
75		FacilitiesLosses		type.CategorizedLosses		?	施設被害額		
76		OtherLosses		type.CategorizedLosses		?	その他被害額		
77		TotalLosses		type.TotalLosses		?	被害総計		
78	type.Firefighter								本要素が出現する場合、TurnoutFireStation、TurnoutFireCompanyのうちいずれか1つ以上を記述しなければならない。
79		TurnoutFireStation		xs:nonNegativeInteger		?	消防職員出動延人数		
80		TurnoutFireCompany		xs:nonNegativeInteger		?	消防団員出動延人数		
81	type.DamageCounter			xs:nonNegativeInteger			被害の数値を表す		
82			counterUnit	enum.type.DamageCounter.counterUnit.attr		?	単位		本属性は、第1.1版より、必須属性に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本属性を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本属性が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
83				*				"人"	
84				*				"棟"	
85				*				"世帯"	
86				*				"箇所"	
87				*				"ha"	
88				*				"隻"	
89				*				"戸"	

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
90				*				"回線"	
91				*				"件"	
92				*				"千円"	
93	type.CategorizedLosses								
94		Loss		type.LossesDamageCounter		+	被害額(各項目)		
95		TotalLosses		type.TotalLosses		?	被害額合計		
96	type.LossesDamageCounter			type.DamageCounter					
97			lossesDamageType	enum.type.LossesDamageCounter.loosesDamageType.attr		?	被害額の種類		本属性は、第1.1版より追加された。また、本属性の追加に伴い、第1.0版の属性"loosesDamageType"は削除された。
98				*				"公共文教施設"	
99				*				"農林水産業施設"	
100				*				"公共土木施設"	
101				*				"農業被害"	
102				*				"林業被害"	
103				*				"畜産被害"	
104				*				"水産被害"	
105				*				"商工被害"	
106				*				"その他"	
107	type.TotalLosses			xs:nonNegativeInteger			被害額合計		
108			currencyUnit	enum.type.TotalLosses.currencyUnit.attr		1	被害額の単位		
109				*				"千円"	
110	(end)								

pcx_gi
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/GeneralInformation
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edx12/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edx1de: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx_add: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/addition、
pcx_html: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/html

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	GeneralInformation		type.GeneralInformation		1	お知らせのルート要素		
2	type.GeneralInformation								
3		DisasterInformationType		type.DisasterInformationType		?	情報識別区分		<p>この情報が災害に関連する情報であるか否かを表す列挙値。情報発信者が、災害との関係を示すことで、その重要度や緊急度を情報伝達者に提示したい場合に本要素を使用する。ここでいう災害には、自然災害のみならず、住民の安全を脅かす緊急事態全般が含まれる。</p> <p>本要素の値は、情報を入力する担当者の責任のもとに決定されることを前提としており、本情報を扱うシステムが、本要素の値を他の属性から自動的に決定したり、暗黙のうちに入力値として決定したりすることは推奨されない。</p> <p>本要素が省略された場合、当該情報は災害と関係のない平時の情報であるものとする(“Ordinary”が指定された場合と同じ)。 情報識別区分が不明である場合、明示的に不明(“Unknown”)を指定しなければならない。</p>
4				*				“Alert”	“警報” 災害により住民の生命を脅かす危険がせまっていることを知らせるものであることを表す。
5				*				“Disaster”	“災害情報” 災害に関わる情報で上記以外のものであることを表す。
6				*				“Notice”	“注意情報” 注意を促すための情報であることを表す。 この値は、Version 1.5 より追加された。
7				*				“Accident”	“事故・故障” 突発的に発生した事故や故障に関わる情報であることを表す。 この値は、第1.2.1版より追加された。
8				*				“Ordinary”	“平時情報” 災害と関係なく平時の情報であることを表す。
9				*				“Unknown”	“不明” この情報の識別区分が不明であることを表す。 システム連携による情報発信の際に、情報識別区分の設定が困難な場合を想定しており、入力時点で人間の判断が入る場合には、“不明”を設定することは推奨されない。

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_gi URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/GeneralInformation 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx_add: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/addition 、 pcx_html: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/html									
10		pcx_eb:Disaster		pcx_eb:type.Disaster		?	災害識別情報		「お知らせ」が災害に関連する情報の場合のみこの要素を指定する。 災害名をDisaster/DisasterNameに設定する。 災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。 また、各自治体間で統一された名称でなくてよい。
11		Category		xs:NMTOKEN		1	大分類(サブカテゴリ)		この情報の大分類を表す文字列。詳しくは別紙「情報種別“お知らせ”が対象とする情報内容」を参照のこと。
12				*				“交通”	
13				*				“ライフライン”	
14				*				“生活情報”	
15				*				“広報”	
16				*				“観光・文化”	
17				*				“その他”	
18		SubCategory		xs:NMTOKEN		1	小分類(サブカテゴリ)		この情報の小分類を表す文字列。大分類にひもづいた小分類を指定する。なお、スキーマ上は、大分類/小分類の対応は検証されない(例:大分類=交通、小分類=文化としてもエラーとはならない)。 各値の詳細については別紙「情報種別“お知らせ”が対象とする情報内容」を参照のこと。
19				*				“鉄道”	大分類が“交通”の場合に指定できる。
20				*				“バス”	大分類が“交通”の場合に指定できる。
21				*				“航空”	大分類が“交通”の場合に指定できる。
22				*				“船舶”	大分類が“交通”の場合に指定できる。
23				*				“道路”	大分類が“交通”の場合に指定できる。
24				*				“電気”	大分類が“ライフライン”の場合に指定できる。
25				*				“ガス”	大分類が“ライフライン”の場合に指定できる。
26				*				“水道”	大分類が“ライフライン”の場合に指定できる。
27				*				“給水”	大分類が“ライフライン”の場合に指定できる。
28				*				“通信”	大分類が“ライフライン”の場合に指定できる。
29				*				“放送”	大分類が“ライフライン”の場合に指定できる。
30				*				“行政手続き”	大分類が“生活情報”の場合に指定できる。
31				*				“被災者支援”	大分類が“生活情報”の場合に指定できる。
32				*				“福祉・教育・保育”	大分類が“生活情報”の場合に指定できる。
33				*				“環境”	大分類が“生活情報”の場合に指定できる。
34				*				“防犯”	大分類が“生活情報”の場合に指定できる。
35				*				“保健衛生”	大分類が“生活情報”の場合に指定できる。
36				*				“医療”	この値は、Version 1.3より追加された。 大分類が“生活情報”の場合に指定できる。
37				*				“広報”	大分類が“広報”の場合に指定できる。
38				*				“観光・文化”	大分類が“観光・文化”の場合に指定できる。
39				*				“その他”	大分類が“交通”または“ライフライン”または“生活情報”または“観光・文化”または“その他”の場合に指定できる。

pcx_gi
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/GeneralInformation
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx_add: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/addition、
pcx_html: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/html

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
40		Title		xs:string		1	標題		このお知らせの標題。pcx_ib:Head/pcx_ib:Titleと同じ値を設定する。
41		Description		type.Description		1	お知らせ本文		
42		URL		xs:anyURI		?	関連するホームページ		
43		AttachmentFiles		pcx_add:type.Files		?	添付ファイル		インターネット経由で参照できる外部ファイルへのURIを保持する。
44	type.Description	(解説参照)		(mixed)					<p>お知らせ本文を表すmixed要素。 本要素では、改行やインデントを表現するために、子要素として0個以上のpcx_html要素を記述できる。 以下にpcx_html要素の記述方式を説明する。 *pcx_html各要素の出現順は問わない。 *Descriptionの子要素に、以下のpcx_html要素を記述できる。 pcx_html:h2 pcx_html:br pcx_html:a pcx_html:ul pcx_html:ol pcx_html:dl *pcx_html:dlの子要素に、以下の要素を記述できる。 pcx_html:dt pcx_html:dd *pcx_html:ul、pcx_html:olの子要素に、以下の要素を記述できる。 pcx_html:li *pcx_html:dt、pcx_html:dd、pcx_html:liの子要素に、以下の要素を記述できる。 pcx_html:a *pcx_html:a要素にはpcx_html:href属性を記述できる。 *上記以外の子要素、属性を記述することはできない。</p> <p>(例) <pcx_gi:Description>運行情報: <pcx_html:ul> <pcx_html:li> × × 市交通局は、南北線の運行を再開している。</pcx_html:li> <pcx_html:li>市バスは30分～1時間の間隔で運行している。</pcx_html:li> </pcx_html:ul> </pcx_gi:Description></p>
45		pcx_html:h2		xs:string		*	第2見出し		出現順、出現回数は問わない。
46		pcx_html:br		pcx_html:type.br		*	改行		出現順、出現回数は問わない。
47		pcx_html:a		pcx_html:type.a		*	アンカー		出現順、出現回数は問わない。
48		pcx_html:ul		pcx_html:type.ul		*	順序なしリスト		出現順、出現回数は問わない。
49		pcx_html:ol		pcx_html:type.ol		*	順序ありリスト		出現順、出現回数は問わない。
50		pcx_html:dl		pcx_html:type.dl		*	定義済みリスト		出現順、出現回数は問わない。
51	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	Event		type.Event		1	イベント情報のルート要素		
2	type.Event								
3		Code		xs:NMTOKEN		?	イベントコード		
4		Name		xs:normalizedString		?	イベントの名称、お知らせ件名		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
5		Category		enum.type.Category		?	イベント情報のジャンル分け		
6				*				"催し 講座"	
7				*				"募集"	
8				*				"試験"	
9				*				"お知らせ"	第1.2版より、情報種別「お知らせ」が追加された。第1.2版以降の形式の発信システムでは、お知らせ情報を発信する場合には情報種別「お知らせ」を使用しなければならない。
10		From		xs:dateTime		?	対象となる事柄の開始日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
11		To		xs:dateTime		?	対象となる事柄の終了日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
12		DurationDescription		xs:string		?	継続期間の文字表現		例: "9月上旬から12月末までの毎水曜日(祝日を除く)" 対象となる事柄の継続する期間を表現する。
13		Fee		xs:normalizedString		?	イベントの参加料金		例: 大人1000円、子供500円、幼児無料
14		Description		xs:string		?	詳細		例: ××公園でコスモス祭が開催されます.. 本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
15		URL		xs:anyURI		?	関連するホームページ		
16		AttachmentFiles		pcx_add:type.Files		?	画像情報		
17	(end)								

pcx_cp
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/CivilProtection
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、edxlde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	CivilProtection		type.CivilProtection		1	国民保護情報のルート要素		国民保護情報は、大規模事故、災害、テロなどの非常事態から国民を保護するために、国(政府・およびその対策本部)が発信する情報。公共情報コモンズが配信するための専用フォーマットであり、利用者が発信することはできない。
2	type.CivilProtection								
3		Contents		type.CPContents		1			
4	type.CPContents								
5		Title		xs:string		1	タイトル		
6		DateTime		xs:dateTime		1	送信日時(発表日時)		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
7		Content		xs:string		1	配信されたテキストファイルの内		
8		WholeLandFlag				1	全土識別		攻撃対象地域が日本全土かどうかを表す。
9				*				"全土"	攻撃対象地域が日本全土であることを示す。
10				*				"全土ではない"	攻撃対象地域が日本全土ではないことを示す。
11		TargetAreaPrefectures		type.TargetAreaPrefectures		?	攻撃対象地域の都道府県		
12		TargetAreaMunicipalities		type.TargetAreaMunicipalities		?	攻撃対象地域の市町村		
13	type.TargetAreaPrefectures								
14		TargetAreaPrefecture		commons:CommonsTargetAreaType		+	攻撃対象地域の都道府県		
15	type.TargetAreaMunicipalities								
16		TargetAreaMunicipality		commons:CommonsTargetAreaType		+	攻撃対象地域の市町村		
17	(end)								

具体的な設定内容に関しては、解説資料「国民保護情報XMLの設定値」を参照のこと。

pcx_um
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/UrgentMail
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	UrgentMail		type.UrgentMail		1	緊急速報メールのルート要素		
2	type.UrgentMail								
3		Information		type.Information		+	伝達情報		スキーマ上の出現回数は1回以上であるが、この版では1回のみ出現できることとする。
4	type.Information								
5		Title		xs:string		1	タイトル		別紙「緊急速報/エリアメール配信機能開発ガイド」参照。
6		Message		xs:string		1	メッセージ(本文)		別紙「緊急速報/エリアメール配信機能開発ガイド」参照。
7	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	WaterLevel		type.WaterLevel		1	河川水位情報のルート要素		
2	type.WaterLevel								
3		GaugingStation		type.GaugingStation		+			
4	type.GaugingStation								
5		Station		type.Station		1	水位観測所情報		
6		Information		type.Information		1	水位観測情報		
7		Title		xs:string		?	観測情報の標題		この観測情報に対する標題がある場合には、これを設定する。
8	type.Station								
9		GaugingStationInfo		type.GaugingStationInfo		1	(地方整備局の)観測所名		
10		Reservoirs		type.Reservoirs		?	水系の情報		
11		River		type.River		?	河川の情報		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
12		LocationInfo		pcx_eb:type.OfficeInfo		?	水位観測所の位置情報		非推奨。この要素は、GaugingStationInfo/StationLocation要素によって置き換えられた。水位観測所の位置情報を記述する場合には、GaugingStationInfo/StationLocation要素の各子要素に値を設定する。
13		StationOffice		pcx_eb:type.OfficeInfo		?	(地方整備局の)事務所名、事務所コード		水位観測所を管轄している河川事務所などの情報。OfficeNameに事務所名を記載する。OrganizationCodeには事務所コードを記載する。 例: <pcx_wl:StationOffice> <pcx_eb:OrganizationCode >99999999</pcx_eb:OrganizationCode> <pcx_eb:OfficeName >××河川国道事務所</pcx_eb:OfficeName> </pcx_wl:StationOffice>
14		StationCriteria		type.StationCriteria		?	規定水位情報(LEV)		
15	type.Information								
16		CurrentWaterLevel		pcx_eb:type.WaterLevel		?	現在水位、データ状態 (condition属性)		
17		DataStatus		pcx_eb:enum.type.Information.DataStatus		?	データ状態		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
18		Fluctuation		enum.type.Information.Fluctuation		?	前観測値からの増減		
19				*				"増減なし"	
20				*				"増加"	
21				*				"減少"	
22				*				"判定不可"	
23		AmountOfChange		pcx_eb:type.WaterLevel		?	前観測値からの水位変化量		
24		AlertLevel		pcx_eb:enum.type.WaterLevel.type.attr		?	水位警戒フラグ		

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_wl URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/waterlevel 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxId: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx_add: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/addition									
25		DateTime		pcx_eb:type.DateTime		?	観測日時		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
26		AttachmentFiles		pcx_add:type.Files		?	河川ライブカメラ画像情報		
27	type.GaugingStationInfo								
28		GaugingStationCode		xs:string		?	河川水位観測所コード		識別は名称ではなくコードを用いることが推奨される。
29		GaugingStationName		xs:string		1	河川水位観測所名称		
30		StationLocation		commons:CommonsTargetAreaType		?	観測所の所在地情報		例: <pcx_wl:StationLocation> <pcx_wl:areaName>加古川市△△2-3-4</pcx_wl:areaName> </pcx_wl:StationLocation>
31		LocalGovernment		type.LocalGovernment		?	観測所所在地の地方公共団体情報		観測所所在地の地方公共団体情報を記述する。 例: <pcx_wl:LocalGovernment> <commons:jisX0402>282103</commons:jisX0402> <pcx_wl:LocalGovernmentName >加古川市</pcx_wl:LocalGovernmentName> </pcx_wl:LocalGovernment>
32	type.Reservoirs								
33		ReservoirsCode		xs:string		?	水系コード		識別は名称ではなくコードを用いることが推奨される。
34		ReservoirsName		xs:string		1	水系名称		
35	type.River								
36		RiverCode		xs:string		?	河川コード		識別は名称ではなくコードを用いることが推奨される。
37		RiverName		xs:string		1	河川名称		
38	type.StationCriteria								
39		DefinedAlertLevel		pcx_eb:type.WaterLevel		*	規定水位		
40	type.LocalGovernment								
41		commons:jisX0402		xs:string		1	地方公共団体コード		親要素が出現する場合には必須となる。
42		LocalGovernmentName		xs:string		1	地方公共団体名		親要素が出現する場合には必須となる。
43	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_rf URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/rainfall 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxId: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
1	(element)	RainFall		type.RainFall		1	雨量情報のルート要素		
2	type.RainFall								
3		RainGaugeStation		type.RainGaugeStation		+	雨量観測所		
4	type.RainGaugeStation								
5		Station		type.Station		1	雨量観測所情報		
6		Information		type.Information		1	雨量観測情報		
7		Title		xs:string		?	観測情報の標題		この観測情報に対する標題がある場合には、これを設定する。
8	type.Station								
9		RainGaugeStationInfo		type.RainGaugeStationInfo		1	観測所名		
10		LocationInfo		pcx_eb:type.OfficeInfo		?	雨量観測所の位置情報		非推奨。この要素は、RainGaugeStationInfo/StationLocation要素によって置き換えられた。水位観測所の位置情報を記述する場合には、GaugingStationInfo/StationLocation要素の各子要素に値を設定する。
11		StationOffice		pcx_eb:type.OfficeInfo		?	(地方整備局の)事務所名、事務所コード		雨量観測所を管轄している河川事務所などの情報。OfficeName に事務所名を記載する。 例: <pcx_wl:StationOffice> <pcx_eb:OrganizationCode> >99999999</pcx_eb:OrganizationCode> <pcx_eb:OfficeName> >××河川国道事務所</pcx_eb:OfficeName> </pcx_wl:StationOffice>
12	type.RainGaugeStationInfo								
13		RainGaugeStationCode		xs:string		?	雨量観測所コード		識別は名称ではなくコードを用いることが推奨される。
14		RainGaugeStationName		xs:string		1	雨量観測所名称		
15		StationLocation		commons:CommonsTargetAreaType		?	観測所の所在地情報		例: <pcx_wl:StationLocation> <pcx_wl:areaName>加古川市△△2-3-4</pcx_wl:areaName> </pcx_wl:StationLocation>
16		LocalGovernment		type.LocalGovernment		?	観測所所在地の地方公共団体情報		観測所所在地の地方公共団体情報を記述する。 例: <pcx_wl:LocalGovernment> <commons:jisX0402>282103</commons:jisX0402> <pcx_wl:LocalGovernmentName> >加古川市</pcx_wl:LocalGovernmentName> </pcx_wl:LocalGovernment>
17	type.Information								
18		TenMinutesPeriod		type.AmountOfRainfall		?	10分間の雨量		
19		OneHourPeriod		type.AmountOfRainfall		?	1時間の雨量		
20		Total		type.AmountOfRainfall		?	降り始めからの累加雨量		
21		StratingDateTime		pcx_eb:type.DateTime		?	降雨開始日時		
22		DateTime		pcx_eb:type.DateTime		?	観測日時		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない場合がある点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
23	type.AmountOfRainfall								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_rf URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/rainfall 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、edxlde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
24		PointRainfall		type.PointRainfall		?	観測所で計測された雨量の数値		
25		Status		pcx_eb:enum.type.Information.DataStatus		1	データ状態		
26	type.PointRainfall			pcx_eb:nullableinteger					
27			pointRainfall.unit	enum.pointRainfall.unit.attr		?	雨量単位		
28				*				"mm"	
29	type.LocalGovernment								
30		commons:jixX0402		xs:string		1	地方公共団体コード		親要素が出現する場合には必須となる。
31		LocalGovernmentName		xs:string		1	地方公共団体名		親要素が出現する場合には必須となる。
32	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_tl URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/tidelevel 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx_add: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/addition									
1	(element)	TideLevel		type.TideLevel		1	潮位情報のルート要素		
2	type.TideLevel								
3		TideStation		type.TideStation		+			
4	type.TideStation								
5		Station		type.Station		1	潮位観測所情報		
6		Information		type.Information		1	潮位観測情報		
7		Title		xs:string		?	観測情報の標題		この観測情報に対する標題がある場合には、これを設定する。
8	type.Station								
9		TideStationInfo		type.TideStationInfo		1	潮位観測所情報		
10		StationOffice		type.StationOffice		?	事務所情報		
11		StationCriteria		type.StationCriteria		?	規定潮位情報(LEV)		
12	type.TideStationInfo								
13		TideStationCode		xs:string		?	観測所コード		
14		TideStationName		xs:string		1	観測所名称		
15		StationLocation		commons:CommonsTargetAreaType		?	観測所の所在地情報		例: <pcx_tl:StationLocation> <edxIde:circle>34.523729, 133.738457</edxIde:circle> <commons:areaName>〇〇県 × 市△△町1-12地先 △△観測所</commons:areaName> </pcx_tl:StationLocation>
16		LocalGovernment		type.LocalGovernment		?	観測所所在地の地方公共団体情報		観測所所在地の地方公共団体情報を記述する。 例: <pcx_tl:LocalGovernment> <commons:jisX0402>330001</commons:jisX0402> <pcx_tl:LocalGovernmentName> 〇〇県 </pcx_tl:LocalGovernmentName> </pcx_tl:LocalGovernment>
17	type.StationOffice								
18		OfficeCode		xs:string		?	事務所コード		
19		OfficeName		xs:string		1	事務所名		
20	type.Information								
21		CurrentTideLevelValueTP		type.TideLevelValue		?	現在潮位 (TP値)		欠測の場合は、データ状態(DataStatus)を“欠測”とし、要素ごと省略する。
22		DataStatus		pcx_eb:enum.type.Information.DataStatus		1	データ状態		
23		Fluctuation		enum.type.Information.Fluctuation		?	前観測値からの増減		
24				*				“増減なし”	
25				*				“増加”	
26				*				“減少”	
27				*				“判定不可”	前観測値が欠測など
28		AlertLevel		enum.type.AlertLevel		?	潮位警戒フラグ		
29				*				“なし”	
30				*				“警戒潮位”	
31				*				“通報潮位”	
32		DateTime		pcx_eb:type.DateTime		1	観測日時		
33		CurrentTideLevelValueCDL		type.TideLevelValue		?	現在潮位 (CDL値)		
34		AstronomicalTideLeveValue		type.TideLevelValue		?	天文潮位 (TP 値)		潮位の予測値
35		HighestHighWaterLevel		type.HighestHighWaterLevel		?	既往最高潮位 (TP値)		各検潮所で、潮位の観測開始から現在までの期間に記録された最高の潮位。
36		AttachmentFiles		pcx_add:type.Files		?	潮位ライブカメラ画像情報		
37	type.LocalGovernment								
38		commons:jisX0402		xs:string		1	地方公共団体コード		
39		LocalGovernmentName		xs:string		1	地方公共団体名		
40	type.TideLevelValue			pcx_eb:nullablefloat					
41		unit		pcx_eb:enum.type.WaterLevel.unit.attr		1	単位		単位を示す。

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_tl URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/tidelevel 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxld: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx_add: http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/addition									
42	type.HighestHighWaterLevel								
43		TideLevelValue		type.TideLevelValue		1	過去最高の潮位(TP 値)		
44		DateTime		pcx_eb:type.DateTime		1	観測日時		
45		ComplementaryInfo		xs:string		?	補足情報		
46	type.StationCriteria						規定潮位		
47		DefinedAlertLevelValue		type.TideLevelValue		1	警戒潮位(TP 値)		
48		DefinedReportLevelValue		type.TideLevelValue		?	通報潮位(TP 値)		
49	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	FamiliariseRiver		type.FamiliariseRiver		1	水位周知河川情報のルート要素		
2	type.FamiliariseRiver								
3		FamiliariseRiverCode		xs:string		?	水位周知河川情報コード		
4		FamiliariseRiverName		xs:string		1	水位周知河川情報区間名		
5		Reservoirs		type.Reservoirs		?	水系の情報		
6		River		type.River		?	河川の情報		本要素は、第1.1版より、必須要素に指定された。第1.1版以降の形式の発信システムは、必ず本要素を設定しなければならない。また、受信側システムでは、第1.0版形式の発信システムによる情報に、本要素が設定されない点に注意する必要がある。なお、XMLスキーマ上は互換性維持のため省略可能としている。
7		StationOffice1		pcx_eb:type.OfficeInfo		1	(地方整備局の)発令事務所(1つ目)		発令した河川事務所の情報。Location/areaName に事務所名を記載する。また、事務所コードを OrganizationCode に記載する。 例: <pcx_fr:StationOffice1> <pcx_eb:OrganizationCode>xxxxx</pcx_eb:OrganizationCode> <pcx_eb:OfficeName >姫路河川国道事務所</pcx_eb:OfficeName> </pcx_fr:StationOffice1>
8		StationOffice2		pcx_eb:type.OfficeInfo		?	(地方整備局の)発令事務所(2つ目)		発令事務所が2か所となる場合に使用する。通常は StationOffice1 のみ。StationOffice1 と同様に事務所名、事務所コードを記載する。
9		GaugingStations		type.GaugingStations		1	対象観測所		
10		LocalGovernment		pcx_eb:type.OfficeInfos		1	関連地方公共団体		例: <LocalGovernment> <pcx_eb:OfficeInfo> <pcx_eb:OrganizationCode >281000</pcx_eb:OrganizationCode> <pcx_eb:OfficeName>神戸市</pcx_eb:OfficeName> </pcx_eb:OfficeInfo> <pcx_eb:OfficeInfo> <pcx_eb:OrganizationCode >282031</pcx_eb:OrganizationCode> <pcx_eb:OfficeName>明石市</pcx_eb:OfficeName> </pcx_eb:OfficeInfo> </LocalGovernment>
11		Kind		type.Kind		1	種別		
12		Date Time		pcx_eb:type.DateTime		1	発表日時		
13		Condition		enum.type.Condition		1	発表・解除区分		
14				*				"発表"	
15				*				"解除"	
16		Text		xs:string		1	本文		
17	type.Reservoirs								
18		ReservoirsCode		xs:string		?	水系コード		
19		ReservoirsName		xs:string		1	水系名		
20	type.River								
21		RiverCode		xs:string		?	河川コード		
22		RiverName		xs:string		1	河川名		
23	type.GaugingStations								

pcx_fr
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/familiariseriver
関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
24		GaugingStationInfo		type.GaugingStationInfo		+	対象観測所		
25	type.GaugingStationInfo								
26		GaugingStationCode		xs:string		?	河川水位観測所コード		
27		GaugingStationName		xs:string		1	河川水位観測所名称		
28		StationLocation		commons:CommonsTargetAreaType		?	観測所の所在地情報		
29	type.Kind								
30		KindCode		xs:string		1	種別コード		1: 氾濫注意情報 2: 氾濫警戒情報 3: 氾濫危険情報 4: 氾濫発生情報
31		KindName		xs:string		1	種別		"氾濫注意情報", "氾濫警戒情報", "氾濫危険情報", "氾濫発生情報"
32	(end)								

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_pf URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/powerfailure 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxIde: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL)									
1 (element)		PowerFailure		type.PowerFailure		1	停電発生状況のルート要素		
2	type.PowerFailure								
3		Sort		enum.type.Sort		1	公開区分		停電が全て復旧した際に発信する最終報であることを識別する。
4				*				"発生中"	この情報が停電発生中であることを表す。
5				*				"復旧"	この情報が復旧情報であることを表す。
6		DateTime		xs:dateTime		1	更新日時		高圧配電路における送電が復旧したことを表し、家庭への引込線の断線等が原因で停電が続いている場合もある。 タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
7		pcx_eb:Disaster		pcx_eb:type.Disaster		?	災害識別情報		災害名をDisaster/DisasterNameに設定する。 災害に対する名称などは後から付けられることが多いため、正式な名称が決まるまでは仮称でよく、以降の同一文書の更新の時に、別の災害名称を設定してよい。 また、各自治体および発信者間で統一された名称でなくてよい。
8		ComplementaryInfo		xs:string		?	補足情報		詳細については、解説資料「メッセージを説明する要素」を参照のこと。
9		Notification		xs:string		?	お知らせ		停電連携情報に他の市町村の状況に関する項目を含めない方針とするため、本要素は、XMLバージョン1.5(第2版)より非推奨要素に指定された。 当該の電力会社の全サービス利用者へのお知らせ事項であり、概況や特記事項を記述する。
10		Households		type.Households		?	サービスエリア全体の停電総数		停電連携情報に他の市町村の状況に関する項目を含めない方針とするため、本要素は、XMLバージョン1.5(第2版)より非推奨要素に指定された。
11		Prefectures		type.Prefectures		?	都道府県別状況		電力会社の全サービスエリアにおける停電の総数。 停電連携情報に他の市町村の状況に関する項目を含めない方針とするため、本要素は、XMLバージョン1.5(第2版)より非推奨要素に指定された。
12		Municipality		type.Municipality		1	市区町村の概況		
13		Areas		xs:string		?	停電が発生している地区別情報		地区別詳細情報。公開区分が"発生中"の場合必須。公開区分が"復旧"の場合には設定してはならない。 JSON形式で、長さ1以上の配列を記述する。配列内の要素にはオブジェクトを記述する。このオブジェクト1つが地域情報1つを指す。地域情報のオブジェクトのプロパティについて、補足*1を参照のこと。 例: [{"AreaCode": "13000099999", "ZipCode": "1060045", "Name": "麻布十番1丁目", "NameKana": "あざぶじゅうばんいちちょうめ", "Households": { "value": "100", "unit": "軒"}, "Color": "ff4500"}] なお、JSON仕様については RFC 4627 を参照のこと。
14		CodeType		enum.type.CodeType		?	コード種別		Areas 以下の地区別情報にエリアコードが設定されている場合必

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
15				*				"町・字コード(JGDC)"	地域コードが、国土地理協会が販売している11桁の町・字コードであることを表し、地方自治体はJ-LISから購入できる。
16	type.Prefectures								
17		Prefecture		type.Prefecture		+	都道府県別状況		停電が発生しているサービスエリア内の全都道府県が出現する。
18	type.Prefecture								
19		commons:jisX0402		xs:string		1	都道府県コード		
20		Name		xs:string		1	停電が発生している都道府県		例: <pcx_pf:Prefecture> <commons:jisX0402>130001</commons:jisX0402> <pcx_pf:Name>東京都</pcx_pf:Name> <pcx_pf:Households pcx_pf:additionalInformation="約" unit="軒">300</pcx_pf:Households> </pcx_pf:Prefecture>
21		Households		type.Households		1	都道府県内の停電総数		都道府県内のサービスエリアで発生している停電数。
22		Color		xs.token		?	表示色		地図表示等で、停電発生数別に色分けする場合に当該の電力会社が推奨する表示色。
23	type.Households			xs:nonNegativeInteger					
24			additionalInformation	enum.type.Households.AdditionalInformation.attr		?	数値の補足情報		停電発生数が概数の場合に付加する。
25				*				"約"	
26				*				"未満"	
27			unit	enum.type.Households.unit.attr		1	数値の単位		停電発生数の単位を表す。
28				*				"軒"	
29				*				"戸"	
30	type.Municipality								
31		commons:jisX0402		xs:string		1	地方公共団体コード		
32		LocalGovernmentName		xs:string		1	地方公共団体名		
33		ContractNumber		xs:nonNegativeInteger		?	当該の市区町村全体の総契約数 (総軒数/総戸数)		
34		Households		type.Households		1	市区町村別の停電総数		当該の市区町村で発生している停電の数
35		Restoration		xs:dateTime		?	停電の復旧見込みの日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例:2016-05-01T10:00:00+09:00
36		Color		xs.token		?	表示色		地図表示等で、停電発生数別に色分けする場合に当該の電力会社が推奨する表示色
37		Notification		xs:string		?	お知らせ(詳細情報)		当該市区町村のサービス利用者への詳細なメッセージであり、停電の発生日時、復旧の見込み等を記述する。
38		URL		xs:anyURI		?	関連URL		
39	(end)								

補足

*1 地域情報のオブジェクトのプロパティ一覧

項番	プロパティ名 (背景黄色は必須項目、 緑色は推奨項目)	型	出現 回数	意味	とりうる値	解説
A-1	AreaCode	string	?	エリアコード		コード体系はXML内のCodeType要素(項番14)で指定される。
A-2	ZipCode	string	1	郵便番号		
A-3	Name	string	1	地区名称		自治体名は付与しない。
A-4	NameKana	string	?	地区名称の読み仮名		
A-5	Households	object	1	地区別の停電総数		当該の地域内で発生している停電の数。
A-6	Color	string	?	表示色		地図表示等で、停電発生数別に色分けする場合に当該の電力会社が推奨する表示色。
Households(A-5)のプロパティ						
A-7	value	number	1	地区別の停電総数		当該の地区内で発生している停電の数。 非負の整数であること。 停電発生数が概数の場合に付加する。
A-8	additionalInformation	string	?	数値の補足情報		
A-9		*			"約"	
A-10		*			"未満"	
A-11	unit	string	1	数値の単位		停電発生数の単位を表す。
A-12		*			"軒"	
A-13		*			"戸"	
A-14	(end)					

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_system URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/System 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxId: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0、 pcx_ib:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/informationBasis、 pcx_eb:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/elementBasis									
1	(element)	EscalationMessage		type.EscalationMessage		1	発信・配信結果情報のルート要素		
2	type.EscalationMessage								
3		EscalationType		pcx_system:enum.type.EscalationType		1	発信・配信結果情報の種別		
4				*				"DeliveryFailed"	配信失敗メッセージであることを表す。
5				*				"DeliverySucceeded"	配信完了メッセージであることを表す。
6				*				"OvertakingDetected"	追い越し検出メッセージであることを表す。
7				*				"ContentsSizeExceeded"	地理情報添付での容量超過メッセージであることを表す。
8		DateTime		xs:dateTime		1	発信・配信結果情報生成日時		タイムゾーンには日本標準時(+09:00)を指定しなければならない。 例: 2016-05-01T10:00:00+09:00
9		MessageInfo		type.MessageInfo		1	発信情報の情報		
10		ReceiverInfo		type.ReceiverInfo		?	受信者の情報		EscalationTypeが"DeliveryFailed", "DeliverySucceeded", "OvertakingDetected"の場合必須である。 "ContentsSizeExceeded"の場合要素ごと省略する。
11		ProcessingInfo		type.ProcessingInfo		?	処理情報		ノードシステム以外が本情報種別のメッセージを生成し、ノードシステムに送信した場合には、本要素は設定されない。
12		Detail		type.Detail		?	詳細情報		システム情報の種別や処理内容に固有の項目が設定される。 「EscalationTypeが"DeliverySucceeded"で、処理対象トピックのTopicTypeが"UrgentMail"」の場合または「EscalationTypeが"ContentsSizeExceeded"」の場合に必須となる。
13	type.MessageInfo								
14		commons:category		commons:categoryType		?	発信情報の情報種別		元の発信情報の値を転記する。 ノードシステム以外が本情報種別のメッセージを生成し、ノードシステムに送信した場合には、本要素は設定されない。
15		pcx_ib:Title		xs:string		?	発信情報の標題		元の発信情報の値を転記する。 ノードシステム以外が本情報種別のメッセージを生成し、ノードシステムに送信した場合には、本要素は設定されない。
16		pcx_ib:ReportDateTime		xs:dateTime		?	発信情報の発表日時		元の発信情報の値を転記する。 ノードシステム以外が本情報種別のメッセージを生成し、ノードシステムに送信した場合には、本要素は設定されない。
17		edxId:dateTimeSent		xs:dateTime		?	発信情報の発信日時		本要素は、第1.2.1版より追加された。
18		PublisherInfo		type.PublisherInfo		1	発信情報の発表者関連情報		
19		DocumentInfo		type.DocumentInfo		?	発信情報の文書管理関連情報		システム情報の種別や処理内容に固有の項目が設定される。 EscalationTypeが"DeliverySucceeded"で、処理対象トピックのTopicTypeが"UrgentMail"の場合のみ必須となる。
20		AreaInfo		type.AreaInfo		1	発信情報の地域関連情報		
21	type.PublisherInfo								
22		edxId:senderID		xs:string		1	発信情報の発信システムID		元の発信情報の値を転記する。
23		pcx:PublishingOffice		pcx_eb:type.OfficeInfos		?	発信情報の発表部署情報		元の発信情報の値を転記する。 ノードシステム以外が本情報種別のメッセージを生成し、ノードシステムに送信した場合には、本要素は設定されない。
24		pcx:EditorialOffice		pcx_eb:type.OfficeInfo		?	発信情報の作成部署情報		元の発信情報の値を転記する。
25	type.DocumentInfo								
26		edxId:distributionID		xs:string		1	発信情報のメッセージID		元の発信情報の値を転記する。
27		edxId:distributionStatus		edxId:statusValues		1	発信情報の運用モード		元の発信情報の値を転記する。
28		edxId:distributionType		edxId:typeValues		1	発信情報の更新種別		元の発信情報の値を転記する。

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
pcx_system URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/System 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxId: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0、 pcx_ib:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/informationBasis、 pcx_eb:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/elementBasis									
29		commons:documentID		xs:string		1	発信情報のドキュメントID		元の発信情報の値を転記する。
30		commons:documentRevision		xs:int		1	発信情報の版数		元の発信情報の値を転記する。
31		pcx:Errata		pcx:Errata		?	発信情報の訂正・取消情報		元の発信情報の値を転記する。 元の発信情報がdistributionTypeがCancel, Updateの場合のみ出現する。
32	type:AreaInfo								
33		commons:targetArea		commons:CommonsTargetAreaType		+	発信情報の対象地域		元の発信情報の値を転記する。
34	type:ReceiverInfo								
35		TopicID		xs:string		1	処理対象トピックID		
36		Caption		xs:string		?	処理対象トピック名		ノードシステム以外が本情報種別のメッセージを生成し、ノードシステムに送信した場合には、本要素は設定されない。
37		Applicant		xs:string		1	処理対象トピック管理者のコモンズメンバID		
38		TopicType		pcx_system.enum.type.TopicType		1	処理対象トピックのトピック種別		
39				*				"Comet-EDXL"	
40				*				"HTML"	
41				*				"TVCML"	
42				*				"Mail"	
43				*				"SOAP"	
44				*				"UrgentMail"	
45	type:ProcessingInfo								
46		FirstDeliveryTime		xs:dateTime		1	初回処理開始日時		
47		DeliveryTimes		xs:int		1	配信試行回数		
48		LogMessage		xs:string		?	ログメッセージ		本要素は、第1.2.1版より配信失敗メッセージだけでなく、配信完了メッセージ、追い越し検出メッセージでも設定できるよう変更された。
49	type:Detail								システム情報の種別や処理内容に固有の項目が設定される。 このバージョンでは緊急速報メール関連情報のみ対応する。
50		UrgentMailInfo		type.UrgentMailInfo		?	緊急速報メール関連情報		TopicTypeがUrgentMailの場合には、本要素の出現は必須である。TopicTypeがUrgentMail以外の場合には設定されない。
51		IncomingXMLInfo		type.IncomingXMLInfo		?	着信XML情報		EscalationTypeがContentsSizeExceededの場合には、本要素の出現は必須である。EscalationTypeがContentsSizeExceeded以外の場合には設定されない。
52	type:UrgentMailInfo								
53		CarrierName		xs:string		1	携帯電話事業者名称		携帯電話事業者の名称。
54		Title		xs:string		1	タイトルパラメータ値		本要素は、緊急速報メールAPIでの「タイトルを指定するパラメータ値」を表す。 配信成功メッセージの場合、成功時に指定したタイトルのパラメータ値が設定される。 配信失敗メッセージの場合、失敗時に指定したタイトルのパラメータ値が設定される。
55		Message		xs:string		1	メッセージパラメータ値		本要素は、緊急速報メールAPIでの「メッセージを指定するパラメータ値」を表す。 配信成功メッセージの場合、成功時に指定したメッセージのパラメータ値が設定される。 配信失敗メッセージの場合、失敗時に指定したメッセージのパラメータ値が設定される。
56	type:IncomingXMLInfo								
57		pcx_add:URI		xs:anyURI		1	容量超過時の添付ファイル		

pcx_system
 URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/body/System
 関連する基底型 : commons: http://xml.publiccommons.ne.jp/xml/edxl2/ (コモンズ用ヘッダ) 、 edxId: urn:oasis:names:tc:emergency:EDXL:DE:1.0 (OASIS EDXL) 、 pcx:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0、
 pcx_ib:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/informationBasis、 pcx_eb:http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/2.0/elementBasis

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現 回数	意味	とりうる値	解説
58		TotalSize		pcx_add.type.FileSize		1	容量超過時のXMLファイルサイズ		
59		AttachmentFileSize		pcx_add.type.FileSize		1	容量超過時の添付ファイルサイズ		
60		SubscriberID		xs:string		1	容量超過を検出した発信設定の発信ID		
61		Applicant		xs:string		1	容量超過を検出した発信設定の管理者のコモンズメンバID		
62	(end)								

pcx_gstCode
URI = <http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/gaugingStationCode-2009>
関連する基底型 :

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1	(element)	GaugingStationCode		enum.type.GaugingStationCode			河川水位観測所コード		<p>substitutionGroup="pcx_wl:GaugingStationCode"コード値の列挙型として定義されており、対応する河川水位観測所名を<xs:documentation>に持つ。 国交省統一河川情報システム上、管理されている統一コード体系に従う。</p> <p>Version1.3より、本要素は任意のコードを記述可能とするよう変更された。要素の意味に関してはVersion1.2.1以前と同様である。本要素を使用する場合は、最新の国交省統一河川情報システム上、管理されている統一河川コード体系に従って運用する必要がある。</p>
2	(end)								

pcx_resCode
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/reservoirsCode-2009
関連する基底型 :

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1 (element)		ReservoirsCode		enum.type.ReservoirsCode			水系コード	"85052000"などのコード値	<p>substitutionGroup="pcx_wl:ReservoirsCode" コード値の列挙型として定義されており、対応する水系名を<xs:documentation>に持つ。 国交省統一河川情報システム上、管理されている統一コード体系に従う。</p> <p>Version1.3より、本要素は任意のコードを記述可能とするよう変更された。要素の意味に関してはVersion1.2.1以前と同様である。本要素を使用する場合は、最新の国交省統一河川情報システム上、管理されている統一河川コード体系に従って運用する必要がある。</p>
2 (end)									

pcx_rivCode
URI = http://xml.publiccommons.ne.jp/pcxml2/riverCode-2009
関連する基底型 :

項番	親要素	子要素	属性	基底型	サイズ (空欄は制限なし)	出現回数	意味	とりうる値	解説
1 (element)		RiverCode		enum.type.RiverCode			河川コード	"85052000"などのコード値	<p>substitutionGroup="pcx_wl:RiverCode"コード値の列挙型として定義されており、対応する河川名を<xs:documentation>に持つ。 国交省統一河川情報システム上、管理されている統一コード体系に従う。</p> <p>Version1.3より、本要素は任意のコードを記述可能とするよう変更された。要素の意味に関してはVersion1.2.1以前と同様である。本要素を使用する場合は、最新の国交省統一河川情報システム上、管理されている統一河川コード体系に従って運用する必要がある。</p>
2 (end)									